

トレセン参加者の声

ワークショップ集より抜粋

この2泊3日で、数々の知識や技術を得ることができました。このたくさんの経験を、後々役立てていきたいです。有意義に過ごすことができた3日間、たくさん作ることができた友達、身にしみて知ることのできた「国際人道法」の大切さなど、全てを楽しく、素晴らしい思い出とすることができ、本当に良かったと思います。

毎日のホームルームでは、一人で十分に考えを深めることも大切ですが、意見を出し合うことで初めて気づくことも多くありました。自分の考えを发表することで、皆に自分のことを分かってもらうきっかけにもなり、自分に自信をもつことができました。

指示や号令のない生活をすることによって、掲示板や時間をこまめに見て行動する習慣を身に付けることができました。

僕はこのトレセンの様々な活動で、仲間と協力する楽しさ、素晴らしさ、大切さを学ぶことができました。最初、僕はこのホームで活動するのが嫌でたまりませんでした。見ず知らずの人と、なぜグループになってこんなことをしなければならないのだろう、という思いが頭の中をめぐっていました。しかし、最後にはあと1日いたい、という気持ちになれたのも他ならぬグループの仲間のおかげです。これから色々な人と出会うと思いますが、積極的に話しかけていって、今回のように協力できれば、これからの人生もよいものになっていくと思うので、「自分から」という積極性を大切にしていきたいです。

人の権利や命の大切さ、ボランティア活動への参加の重大さなど、たくさんのことを学ぶことができました。



トレセンは、毎年学校の夏休み期間の7月下旬～8月上旬に、2泊3日の日程で「県青少年自然の家」などの施設で開催しています。（詳細については、各学校へ送付する本年度の実施要項をご覧ください。）

参加のご連絡・お問い合わせは

 **日本赤十字社 富山県支部**
Japanese Red Cross Society

富山市牛島本町2丁目1番38号
TEL 076-441-4885 FAX 076-433-2657
URL <http://toyama.jrc.or.jp>



児童・生徒をトレセンに参加させてみませんか？

リーダーシップ・
トレーニング・センター
(トレセン)とは



青少年赤十字の教育プログラムのひとつで、青少年赤十字の活動ならびに各学校の中核となる「児童・生徒のリーダー」の養成を目的としています。

しかし、ここで言う「リーダー」とは、ある特定のメンバーだけがリーダーシップを取るのではなく、グループの中で役割を持ち、仕事の内容や時間と場所によって、ある時はリーダーとなり、ある時はよき協力者となれるように、メンバー全てが「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目的としています。

また、このトレセンでは、児童・生徒が赤十字の基本理念である人道的価値観を身に付けて、自分から進んで行動できる、自立した個人として成長することを願っています。

トレセンでは、子どもたちに「自主自律」の精神を育むことを目指し、気づきを待つ指導者の「待ちの姿勢」や「合図（号令）のない生活」を大切に、先を見越した行動を習慣づける「先見性」を育て、「ボランタリー・サービス（V・S）方式」による問題解決の手法を取り入れています。V・Sとは、周囲の様々な問題に気づき、自ら進んで人のために役立つとする具体的な活動です。これらの教育手法は、先生の指導のもとで生かされ、子どもたちの「生きる力」を育むために役立ちます。



気づき 考え 実行する
JUNIOR RED CROSS